

公益社団法人香川県社会福祉士会
オンライン福祉講演会

「生きづらさを地域で支援する」
～触法高齢者・障がい者支援の課題～



近年、触法高齢者や障がい者の受刑者が増加し、その再犯率の増加が社会問題となっています。背景には出所後の地域における「生きづらさ」が1つの要因として挙げられています。そこで、全国に先駆けて開設された長崎県地域生活定着支援センターの前所長で、現在、厚労省矯正施設退所者地域支援対策官としてご活躍中の伊豆丸剛史氏より、地域での生きづらさについてご講演いただき、その支援の視点について探っていきます。

一般の方も参加可能です。お誘い合わせの上、お申し込みください。

参加費無料
先着100名

【日時】 2021年6月13日(日) 13:00～14:30

【開催方法】 Zoomミーティングによるオンライン講演会

【対象】 本会会員、社会福祉に興味のある方 他

講師:伊豆丸 剛史氏 (厚生労働省社会・援護局総務課
矯正施設退所者地域支援対策官)

大学卒業後、アート活動(オブジェクト制作)を行う。その後、ヒッチハイクの一人旅を機に、『眼に見えるもの(オブジェ)』を築くよりも、『眼には見えないもの(絆)』を築いていくことの美しさに惹かれ、福祉の道を志す。

以後、福岡県において障がい者福祉及び高齢者福祉に従事。平成21年1月、「社会福祉法人 南高愛隣会」入職。同月より全国に先駆け設立された「長崎県地域生活定着支援センター」において、罪を犯した障がい者・高齢者等に対する支援に従事。同センター所長を経て、令和2年10月より現職。



参加ご希望の方は、裏面必要事項を記載し、
メールで申し込んで下さい

公益社団法人香川県社会福祉士会

お問い合わせ
お申込み

TEL 0877-98-0854 (平日:9:00～16:00)

MAIL kagawacsw@md.pikara.ne.jp

裏面あり